

タイヤチェーン 取扱説明書



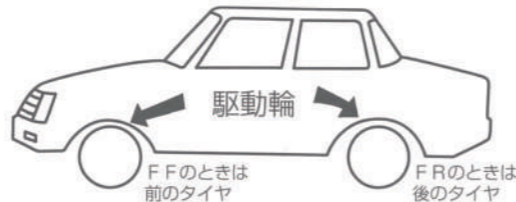
誤った取扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

タイヤチェーンを正しくご理解ご使用して戴く為に、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ずお読み下さい。この「取扱説明書」は、必要に応じ読む事が出来るように、大切に保管して下さい。タイヤチェーンは消耗品です。必ず予備のタイヤチェーンをトランクにご用意下さい。

余りリンクは、針金でサイドチェーンに固定して下さい。

⚠ 使用前の注意事項

- 警告
- お買い求め戴いたタイヤチェーンが、お客様のタイヤに適合しているサイズか否か再確認して下さい。(スタッドレスタイヤ、再生タイヤなど特殊なタイヤについては装着できない場合があります)
 - タイヤのサイズに適合しないタイヤチェーンは、絶対使用しないで下さい。連結の不備・装着の不具合、ゆるみ等が発生し、事故の原因となります。
 - タイヤサイズが適用していても、タイヤメーカー・形状・新品・消耗度・空気圧・ホイールサイズ等の条件により、大きさが異なり装着出来ない場合があります。
 - スタッドレスタイヤにも装着可能ですが、標準タイヤとは適合サイズが異なる場合がありますので、お買い求めいただいた販売店で確認下さい。
 - 適用タイヤサイズでも使用前に必ず駆動輪のタイヤの左右両方共、試し付け(車体とのすき間も確認)をして適合するか確認して下さい。タイヤハウス並びにサスペンション機構に余裕がない場合、干渉して事故が起こる恐れがあります。充分注意下さい。
 - タイヤチェーンを本来の目的以外に絶対使用しないで下さい。他の目的(牽引、吊り下げ等)に使用すると、切断、事故の原因となります。
 - タイヤチェーンを改造して使用しないで下さい。ゆるみ・切断等が発生し、事故の原因となります。
 - 雪路や凍結路においては、タイヤチェーンを装着しても絶対に安全と言う事はありません。スピードは、**30km/h以下厳守**で車間距離は充分取って下さい。30km/hを越えて走行すると(鉄線の強度上30km/h以上には耐えられません)遠心力によりゆるみ等が発生し、チェーンが激しく摩耗し切断の原因となります。またハンドルを取られたり、制動が利かなくなったり事故の原因となります。
 - 取り付ける車がFF車の場合は前輪に、FR車の場合は後輪に装着して下さい。
 - 4WD車については、車の取扱説明書に従って、必ず駆動輪に装着して下さい。
 - ダブルタイヤには、安全を高めるために、トリプルチェーンをご使用下さい。
 - タイヤチェーンの着脱は、安全な場所で、必ず車止めを行ってから作業をして下さい。止むを得ず道路上で着脱する場合は、平坦な場所を選び、他車の走行に十分に注意を払って行って下さい。
 - タイヤチェーンは積雪路や凍結路でのすべり止めを目的として製造しています。無雪路や乾燥路、トンネルでのタイヤチェーンを装着しての走行は絶対にやめて下さい。クロスリンクの摩耗が早まりチェーンの寿命が著しく低下し、切断の原因となります。



事故防止のため次の事項を守って下さい。



誤った取扱いをすると人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠ 取付け、取外しに際しての注意事項

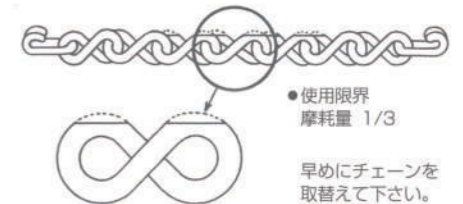
- 注意
- 取扱いには手袋等をご使用下さい。自動車のフェンダーへの接触、タイヤチェーンの連結時の手のすべりなどで、思わぬ傷害の原因になります。
 - 安全な場所に停車し、車止めを行い作業を行って下さい。
 - 作業中は、他車の走行に十分注意を払って下さい。

その他の注意事項

- ホイールの表面並びにホイールキャップにキズを付ける事があります。あらかじめご了承下さい。

⚠ 使用後の点検・手入れ

- 注意
- ご使用後は、各部の摩耗、亀裂の発生及び変形の有無を点検して下さい。
 - タイヤチェーンは、路面と接触して摩耗して行きます。クロスチェーンの摩耗量が、直径の約1/3に擦り減った時は、安全のために使用を中止し、新品と交換して下さい。
 - クロスチェーン以外が著しく摩耗変形している場合は、安全のため使用しないで下さい。装着方法、走行方法が適切でなかったと判断されます。この説明書を読み返し、正しく装着して下さい。
 - クロスチェーンの交換時は使用済のコネクタを使用しないで下さい。
 - 使用後は水洗いし、良く乾燥させ、防錆剤等を塗って、保管して下さい。
 - 屋外に放置したり、雨ざらしにしないで下さい。



- 品質には万全を期しておりますが、万一製造上の原因による不具合がありましたら、程度に応じ新しい商品とお取りかえ、又は、不良個所の修理をさせていただきます。
- 弊社カタログ上に表示した製品と異なる製品を組み合わせるご使用、並びに製品のお取扱いの不手際による傷害、損害については、責任を負いかねますので正しくご使用下さい。
- 取扱説明書の内容についてのご不明の点があれば、お買い求めいただいた販売店までお問い合わせ下さい。



製造元



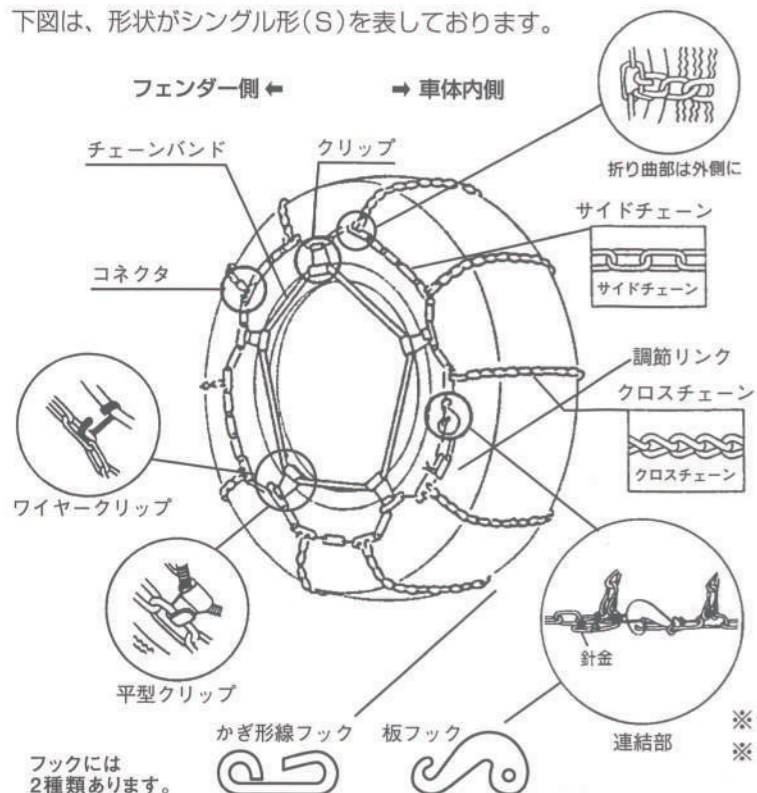
日本タイヤチェーン工業会加盟



日電製鎖株式会社

タイヤチェーンの正規装着図

下図は、形状がシングル形(S)を表しております。



警告 ○コネクタの折曲げ部が外側を向くように取付けて下さい。反対にするとタイヤに、キズがついたり、折曲げ部がのびてサイドチェーンからはずれ重大な事故の原因となります。

注意 ○サイドチェーンの片側に「かぎ形線フック」を採用しているタイヤチェーンは、かぎ形線フック側を必ずタイヤの内側にして下さい。(トラック系のチェーンは両側とも板フックです)

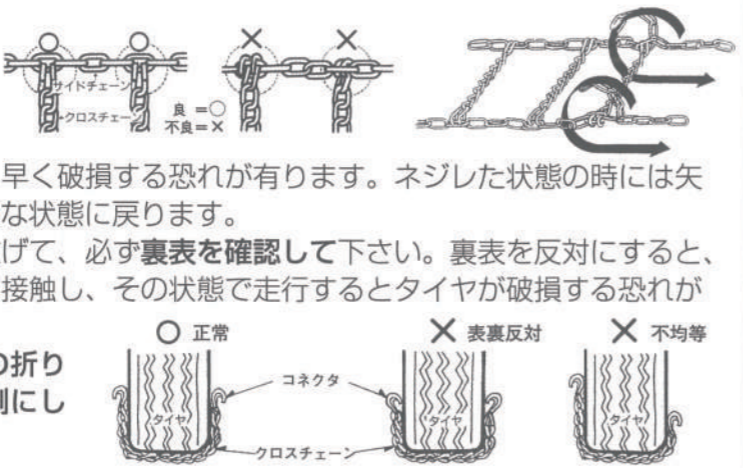
※チェーンバンド(セット品以外)は別売です。
※チェーンバンドにはゴム製とスプリング式(クリップの爪は5個又は6個)があります。

取付け前の確認

警告 ○ネジレの有無を確認して下さい。ネジレは必ず戻してから装着して下さい。ネジレした状態で装着走行すると、早く破損する恐れがあります。ネジレした状態の時には矢印のように通しますと、正常な状態に戻ります。

○装着前にタイヤチェーンを拡げて、必ず裏表を確認して下さい。裏表を反対にすると、コネクタの切断面がタイヤに接触し、その状態で走行するとタイヤが破損する恐れがあります。

○右図の様に、必ずコネクタの折曲げ部をタイヤに対して外側にし装着して下さい。



取付け方法

警告 ① ジャッキを使用して装着する方法(上手に装着できるのでお勧めします)

- タイヤチェーンを取付けしないタイヤには、必ず車止めを行い、車の取扱説明書に従い、車両をジャッキアップし、タイヤを完全に浮かした状態で、タイヤに均等になるようにかぶせて下さい。(連結方法へ)

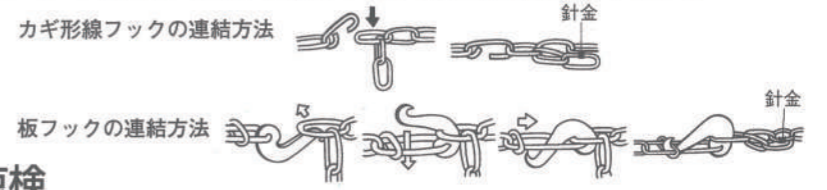
② ジャッキを使用しないで装着する方法(片寄り、ゆるみに要注意下さい)

- 車の後退方向にタイヤに均等になるようチェーンを敷き、車を後退させてチェーンの1/5位の位置に車輪を置く。(連結方法へ)

連結方法

警告 下記の順序で装着して下さい。

- ① **タイヤに均等になるよう**にかぶせ、サイドチェーンの内側を連結して止める。
 - カギ形線フック付きの場合は、必ず**タイヤの内側**になるように装着して下さい。
- ② サイドチェーンの外側を連結して止める。
 - ※連結は必ずしも**端末リンクとは限りません。(2~5リンク余裕の設計となっております)**上記①のサイドチェーンの内側連結時にできるだけ**きつく連結して、外側より1リンクきつめ**か、同数になるように取り付けて下さい。②のサイドチェーンの外側の板フックは増し締めできる構造になっています。
 - ※ゆるんだ状態で装着しますと、チェーンバンドが効かない場合があります。また、タイヤから外れやすく事故の原因になります。
 - トリプルチェーンの場合は中央、内側、外側の順で連結して下さい。



取付け後の点検

警告 ③ 余ったサイドリンクは、**針金**でサイドチェーンに必ず固定して下さい。

- クロスチェーンは**タイヤに平均にかぶさっているか**、サイドチェーンは**ネジレが無く**、タイヤのサイドウォールに平均して巻かれているか確認して下さい。
- 片寄りがあるとサイドチェーンやコネクタが地面と接触し、切断や事故の原因になります。(正しく装着した場合、サイドチェーンやコネクタは、ほとんど摩耗しません)

④ 装着したタイヤチェーンは、必ず**弊社純正チェーンバンド**で固定して下さい。

- チェーンバンドは、タイヤチェーンに適合したバンドを使用して下さい。
- チェーンバンドをしないと、チェーンが遠心力でふくらみ車体(フェンダー等)を損傷したり、緩んで外れ事故の原因になります。
- チェーンバンドのクリップの爪が**外向きになる**様にし、均等に引っ掛けて下さい。(内向きになるとタイヤ表面にキズが付くことがあります)

※適用タイヤでもタイヤメーカーの種類、タイヤの摩耗量により2~5リンク調節リンクの余りが発生する場合があります。**できるだけ緩みのないよう**にきつく連結して下さい。余りリンクを針金で固定しないと、フェンダー等を破損します。

装着後の走行方法

警告 ○装着後**100~200m**走行し、装着状態(ゆるみ、片寄り等)を点検して下さい。もし不具合があれば、ただちに直して下さい。片寄ったまま走行するとコネクタを踏んだり早期切断につながり危険です。

- タイヤチェーン装着後の走行の速度は、**30km/h以下厳守**で走行して下さい。
- タイヤチェーンを装着している時は、**急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドル**などは**危険ですからやめて下さい**。タイヤの空転、制動不能、横すべり、ハンドル操作不能などが発生し、タイヤチェーンの寿命を極端に縮め、切断や**事故の原因**となります。
- タイヤチェーンが切れた場合、速やかに新品のチェーンとお取りかえ下さい。

取外し方法

注意 ○取外し方法は、取付け・連結方法の手順の逆に行ってください。

